

感染症週報 [市内週報 平成21年第43週]

結核・感染症発生動向調査

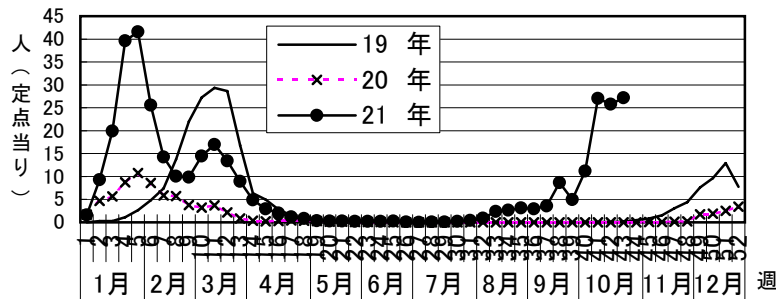
平成21年10月27日

平成21年第43週感染症発生状況【川崎市内】

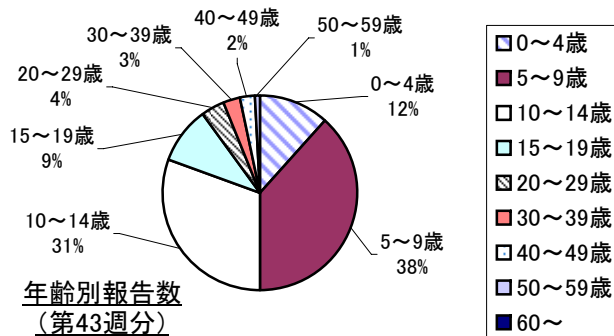
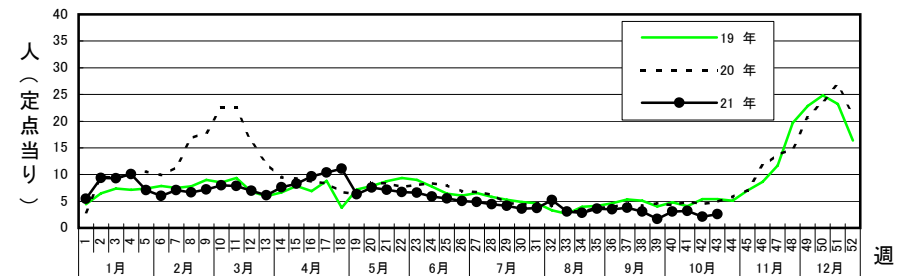
平成21年10月19日～平成21年10月25日

5類感染症(定点把握疾患)	全数把握疾患	届 出	累計(平成21年第1週以降)
<p>第43週で報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) 水痘となっています。</p> <p>インフルエンザは、定点あたり27.15と前週に比べて報告数が増加し、今年度の最高値を更新しました。増加率としては小さい値となっておりますが、前週に引き続きインフルエンザの流行発生警報基準値である定点あたり30に近づいていますので、今後の発生動向には注意が必要です。また、水痘の報告が43週で大幅に増えており、今後注意が必要です。</p> <p>《新型インフルエンザの届出について》</p> <p>8月25日より感染症法に基づく医師の届出が当面の間、不要となりました。現在、報告のあるインフルエンザのほとんどは新型インフルエンザと推測されます。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 6件	結核 317件
	3類感染症	なし	細菌性赤痢 4件 腸管出血性大腸菌感染症 27件
	4類感染症	なし	A型肝炎 1件、オウム病 1件 つつが虫病 1件 デング熱 1件、レジオネラ症 5件
	5類感染症	なし	アメーバ赤痢 8件 ウイルス性肝炎 2件、急性脳炎 2件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3件 後天性免疫不全症候群 13件、ジアルジア症 2件 髄膜炎菌性髄膜炎 1件、梅毒 5件、 風しん 1件、麻しん 23件

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)

